



ORIGINAL
BASIC

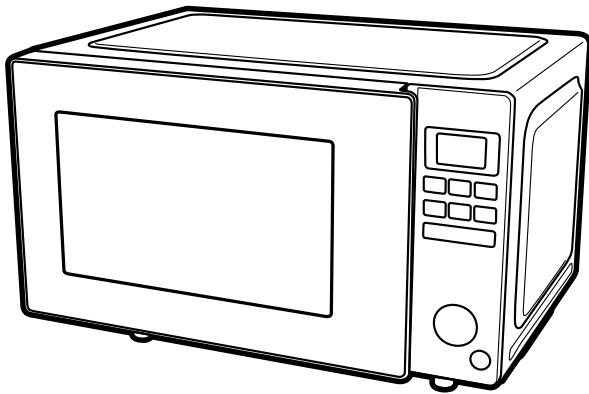
家庭用

日本国内専用
Use only in Japan

電子レンジ
OB-R18F1

取扱説明書

保証書



もくじ

お使いになる前に.....	2
本機でできること.....	2
知っておいていただきたいこと.....	3
安全上のご注意.....	4
各部のなまえ.....	10
据え付けの確認.....	11
使いかた.....	12
使える容器・使えない容器.....	12
オートであたためる.....	13
解凍する.....	15
マニュアルであたためる.....	17
加熱時間のめやす.....	18
消音モード.....	20
チャイルドロック.....	20
長くご愛用いただくために.....	21
お手入れのしかた.....	21
あたため・解凍がうまくできないときは.....	22
故障かなと思ったら.....	24
仕様.....	26
保証とアフターサービス.....	27
保証書.....	28

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この製品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前に
この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。
この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

本機でできること

オートであたためる(オートメニュー)

オートメニューは出力(W)と時間を設定せずにあたためや解凍を行います。
本体内部の湿度センサーで加熱時間を調節します。(3 解凍を除く)

▶ おかず・お弁当(常温・冷蔵) 13ページ

湿度センサー作動



を1回押す

▶ 解凍 15ページ



解凍

を押し、ひき肉/
薄切り肉は「3-1」、
肉/魚は「3-2」、
刺身は「3-3」を選ぶ

▶ おかず(冷凍) 14ページ

湿度センサー作動



を2回押す

▶ ラップをかけるときは

ラップは軽くかけ、密閉容器のふたは外してください。湿度センサーが食品の蒸気を検知して加熱を終了させます。
ラップをぎつくかけたり、密閉容器のふたを外さずに加熱すると、蒸気を検知できず、加熱しすぎる場合があります。

ご注意

- 湿度センサーが作動するメニューを連続で使用すると、加熱室内の水蒸気の影響で、センサーが正しく作動しないことがあります。時間をあけて使用するか、マニュアルモードを使用してください。

マニュアルであたためる(マニュアルモード) 17ページ

お好みの出力(W)と時間を設定して、あたためや解凍を行います。
出力は900/600/500/200/100 Wから選びます。

自動電源オフ(省エネ機能)

5分以上操作しなかったとき、自動で電源が切れ、「0」表示が消えます。
ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

ご注意

ドアを閉めた状態のとき、電源プラグを差し込んだだけでは電源は入りません。

0

| 知っておいていただきたいこと

上手な冷凍のしかた

▶ 新鮮なうちに小分けして冷凍する

1回分ずつ(100～300g)に分け、均等な厚さ(約2cm)になるように平らな形にまとめます。厚さを均等にすると、あたたまり具合にムラが出てにくくなります。

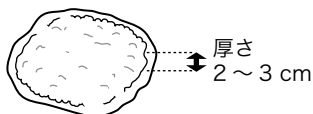
▶ ラップなどで密封する

酸化や乾燥を防ぐために、空気が入らないよう、ピッタリと密封してください。

食材別冷凍のしかた

▶ ごはん

温かいうちに茶わん1杯分(約150g)を薄く(厚さ2～3cm)平らにして包み、粗熱をとってから冷凍します。丸めたり、大量のごはんをひとまとめにすると、中まであたたまりにくくなります。



▶ 肉

ひき肉は約2cmの厚さ、薄切り肉はなるべく重ならないようにラップで包み、密封できる保存袋に入れて冷凍します。



▶ 魚

水気をしっかり拭き取り、ラップで包み、密封できる保存袋に入れて冷凍します。

▶ 野菜

かためにゆで、水気をよく切って1回分(100～200g)ずつ冷凍します。

▶ カレーなど

カレーなどは100～300gずつに分け、薄く(厚さ2～3cm)平らにして冷凍します。

ファンの動作について

繰り返して加熱したあとや《取消》ボタンを押したとき、本体内部の冷却のため、ファンが回転することがありますが、故障ではありません。ファンの動作中でも食品の取り出しや続けて加熱することができます。

うまくあたたまらないとき

加熱を繰り返し行くと、製品保護のため、自動的に出力を下げることがあります。

5分以上時間をおいてから、マニュアルモードで様子を見ながら加熱してください。

お使用になる前に

安全上のご注意

— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明



危険 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が特に高い内容です。



警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意 取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止(してはいけない内容)を示します。



強制(実行しなくてはならない内容)を示します。

危険



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない

発火・感電・けがの原因になります。修理は、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターにご相談ください。



接触禁止

本体のすき間、開口部に指や物を入れない

火災・感電・けがの原因になります。異物が本体に入った場合はすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。

警告

本製品の取り扱いについて



禁止

子どもや操作に不慣れなかただけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないやけど・感電・けがの原因になります。操作できる人が必ず付き添ってください。



水ぬれ禁止

本体を水に浸けたり、本体や操作部に水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。



食品分量、容器など本書記載の内容に従って調理する

発火・火災の原因になります。



禁止

屋外で使用しない

雨水のかかる場所で使用すると、漏電・感電の原因になります。



調理を中止するときは〈取消〉ボタンを押す

先に電源プラグを抜くと、火災・感電の原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

〈異常・故障例〉

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる
- スタートボタンを押しても加熱されない
- 自動的に切れないことがある
- 焦げくさいにおいがしたり、異常な音や火花(スパーク)がでる
- ドアに著しいガタや変形がある
- 触ると電気を感じる など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。



禁止

調理以外の用途では使用しない

故障・やけど・けが・火災の原因になります。市販のレンジ加熱用のゆたんぼ、ほ乳瓶(消毒ケース)、玩具などは加熱しないでください。

警告

電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取りつけ面に付着したほこりはふき取る

ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

電源プラグをなめさせない

感電・けがの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



電源は交流100 Vで、定格15 A以上のコンセントを単独で使用する

交流100 V以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使うと、火災・感電・故障の原因になります。延長コードを使用したり、たこ足配線などで定格を超えると、異常発熱し、発火の原因になります。



禁止

電源コードを束ねて使わない

熱の逃げ場がなくなって高温になり、ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む など



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

やけど・感電・けがの原因になります。



プラグを抜く

長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



水ぬれ禁止

電源コード・電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。



禁止

電源コードは排気口などの高温部に近づけない

電源コードを傷める原因になります。

警告

アース線について



アースを確実に取り付ける

感電・漏電の原因になります。

- アース線をアース端子に接続してください。

➔「アース線の取り付けについて」[11ページ](#)

- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。法令で禁止されています。

- アース端子がない場合や、湿気の多いところや水気のある場所で使用する場合は、アース接地工事（「電気工事士」の有資格者による接地工事）を行ってください。工事はお買い上げの販売店にご相談ください。（本体の価格には、工事費は含まれていません。）

食品のあたためについて



禁止

市販のレンジ加熱用金属製調理器具は使用しない

テーブルプレートの破損や故障の原因になります。



禁止

食品を加熱しすぎない

食品の分量に対して、加熱時間が長いと、発煙・発火・火災・やけどの原因となります。

- マニュアルモードで加熱するときは、設定する時間を控えめにし、様子を見ながら加熱する。
- 少量（100 g未満）の食品はオートメニューで加熱しない。
- オートメニューで加熱するときは、分量・容器・ラップのかけかたなど本書記載の内容に従う。



禁止

生卵やゆで卵（殻つき・殻なし）目玉焼きは加熱しない

卵が破裂してテーブルプレートが破損するおそれがあり、やけど・けがの原因になります。



生卵



ゆで卵



黄身や目玉焼き



卵を加熱する場合は溶きほぐしてから加熱する



禁止

次のような状態のまま加熱しない

やけど・けが・火災の原因になります。

- 鮮度保持剤（脱酸素剤など）を入れた状態
 - 包装や食品にラベルやテープを貼った状態
 - びんや容器にふたや栓などをした状態
 - 缶詰の缶のままの状態
 - 市販のレトルト食品の袋のままの状態
- 鮮度保持剤を取り出し、ラベルやテープを剥がし、蓋や栓をはずし、缶詰などは別の容器に移しかえて加熱してください。



殻や膜のある食品は、割れ目や切れ目を入れてから加熱する

破裂して、やけど・けがの原因になります。

警告

液体のあたためについて



禁止

液体を加熱しすぎない

加熱中や加熱後に突然沸とう(突沸)して飛び散り、やけど・けがの原因になります。

- 飲み物(水・牛乳・コーヒーなど)
 - とろみのある物(カレー・シチューなど)
 - 油脂分の多い物(生クリーム・バターなど)
- 加熱しすぎた場合は、1～2分程度加熱室内で冷ましてから取り出してください。



禁止

加熱直後は上からのぞき込まない

突然沸とう(突沸)して飛び散り、やけど・けがの原因になります。



禁止

加熱直後はインスタントコーヒーなどの粉末や、ミルクなどの液体を入れない

突然沸とう(突沸)して飛び散り、やけど・けがの原因になります。



禁止

《あたため》で飲み物や汁物などを加熱しない

加熱中や加熱後に突然沸とう(突沸)して飛び散り、やけど・けがの原因になります。

- 水・牛乳・コーヒーなどはマニュアルモードで様子を見ながら加熱する。
- みそ汁・スープなどはマニュアルモードで加熱する。

加熱後に追加で加熱するときは、マニュアルモードの500 W以下で様子を見ながら加熱してください。



飲み物をあたためるときは、背の低い広口の容器を使用する

背の高い細口の容器を使用すると、加熱中や加熱後に突然沸とう(突沸)して飛び散り、やけど・けがの原因になります。



加熱前によくかき混ぜる

加熱中や加熱後に突然沸とう(突沸)して飛び散り、やけど・けがの原因になります。

注意

設置に関する注意事項



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない

転倒によるけが・故障や火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂など



禁止

熱に弱い壁や家具の近くで使わない

蒸気や熱で、傷み・変色・変形の原因になります。壁面がガラスの場合、温度差で割れるおそれがあるので、20 cm以上あけてください。



水ぬれ禁止

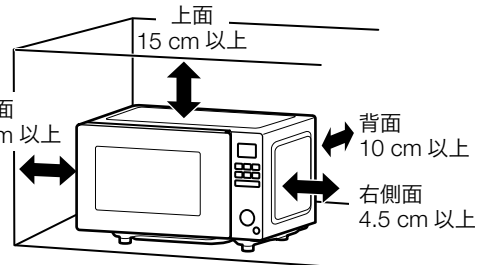
水のかかる恐れのある場所や湿気の多い場所では使わない

ショート・感電の原因になります。



水平で丈夫な場所に据え付ける

不安定な場所は、騒音・振動・本体落下の原因になり、けがをするおそれがあります。また、加熱室内の食品が見えにくい高さの位置には設置しないでください。



禁止

ガスコンロなどの火気の近くには置かない

感電・漏電・火災の原因になります。



禁止

本体の周囲(上面・左側面・右側面・背面・底面)を囲む設置はしない

製品のまわりにすき間があっても、上面・左側面・右側面・背面のいずれか1面を開放してください。

⚠ 注意

設置に関する注意事項 (つづき)



禁止

コンセントが排気口近くになる場所に置かない

コンセントが排気口付近にあると、蒸気により結露し、漏電の原因になります。コンセントよりも高い位置に本体を据え付けてください。



禁止

直射日光が当たるところでは使用しない

変色の原因になります。



禁止

本体の上にものを置いたり、布などをかぶせたりしない

置いたものが過熱し、変形・焦げ・発火・火災の原因になります。



禁止

炊飯器やポットなどの蒸気がかかる場所に置かない

故障の原因になります。

使用上の注意事項



禁止

ドアに物を挟んだまま調理しない

電波もれや熱もれによる傷害・やけど・発火・火災の原因になります。



禁止

ドアガラスやテーブルプレートの割れ防止のため、以下のような使いかたはしない

ガラスが割れて、けがの原因になります。傷がついてもすぐに割れず、使用中や使用後の熱膨張・熱収縮により割れることがあります。

- 局部的に熱を加えない
- 直火をあてない
- 落としたり、強い衝撃を与えない
- 急激に冷やさない
- 傷をつけない(みがき粉・金属タワシなどでお手入れしない)



禁止

本体に水をかけない

ショート・感電の原因になります。誤って水などをこぼした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。



禁止

吸気口・排気口をふさがない

発火・火災の原因になります。



禁止

ドアに無理な力を加えたり、本体にのったりしない

ドアがガタつき、電波もれや熱もれによる傷害・やけどの原因になります。またドアを開けた状態でドアに力を加えると、加熱室内の食品や本体が転倒・落下してやけど・けがの原因になります。



注意

お手入れは冷えてから行う

高温部に触れ、やけどの原因になります。



禁止

加熱室内(壁面など)に食品くずがついたまま調理しない

発火・火災の原因になります。



禁止

ドアを開けるときは庫内をのぞき込まない

熱気や水蒸気などによる、やけどのおそれがあります。



禁止

本体が転倒・落下した場合は、そのまま使用しない

電波もれや熱もれ・感電・やけどの原因になります。電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。




接触禁止


加熱後は高温になっているため、キャビネット・排気口・ドア・加熱室などに直接触れない


やけど・けがの原因になります。


⚠ 注意

使用上の注意事項 (つづき)

 ドアの開閉時に指などをはさまないよう注意する
けがの原因になります。

 食品や容器を取り出すときは必ずミトンなどをはめる
直接接触すると、やけど・けがの原因になります。濡れたふきんなどは熱が伝わりやすいため使わないでください。

 加熱室内で食品が燃え出したときはドアを開けない
勢いよく燃えるおそれがあります。
1. すぐに《取消》ボタンを押し、運転を止め、電源プラグを抜く
2. 燃えやすい物を本体から遠ざけ、鎮火するまで待ち、火の勢いがなかなか衰えないときは、水か消火器で消す
鎮火後、そのまま使用せず、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。

 加熱室に食品を入れない状態で加熱しない
故障・発火の原因になります。



金属製の次の物は使用しない
火花(スパーク)で故障・発火・テーブルプレート破損の原因になります。
また、火花(スパーク)が出てもすぐには割れず、その後のご使用中またはご使用後(放置時)の熱膨張・熱収縮により割れることがあります。

- 金ぐしや金属の調理用具
- アルミホイル
- 金属・ホーローの鍋、ふた
- アルミなどで表面加工されたプラスチック容器



乳幼児用ミルク、ベビーフード、介護食などをあたためるときは、マニュアルモードで様子を見ながら加熱する
やけどの原因になります。



市販のベビーフードは、別の容器に移しかえて加熱する
やけど・けがの原因になります。



ラップなどのおおいは、ゆっくりと剥がす
蒸気が一気に出てやけどの原因になります。



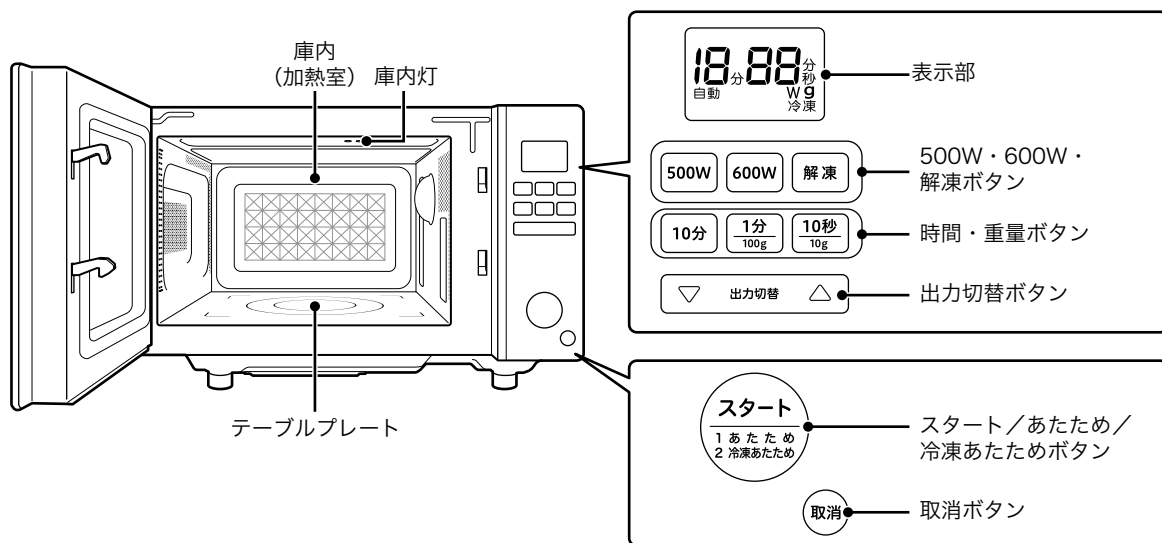
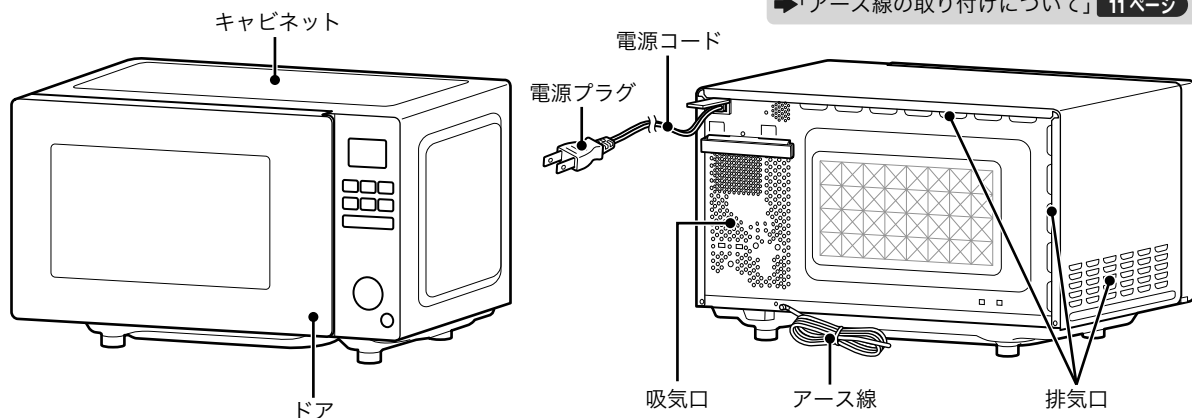
落雷のおそれがあるときは、電源プラグをコンセントから抜く
故障の原因になります。

お願い

- 本体はラジオ、テレビ、無線機器(無線LAN機器、Bluetooth対応機器、2.4 GHz帯の電波を使用する機器)やアンテナ線などから4 m以上離してください。雑音や映像の乱れ、通信エラーの原因になります。
- 医療用ペースメーカーをお使いの方は、本製品を使用する際には専門医師とよくご相談の上、使用してください。

各部のなまえ

▶「アース線の取り付けについて」 11ページ



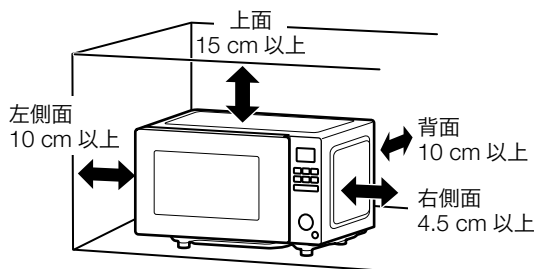
名称		説明
表示部		メニュー番号、加熱時間、解凍時の重量などが表示されます。
500Wボタン		マニュアルモードの出力500Wを設定します。
600Wボタン		マニュアルモードの出力600Wを設定します。
解凍ボタン		「ひき肉／薄切り肉」「肉／魚」「刺身」の3つのモードを切り替えます。
時間・重量ボタン	10分ボタン	マニュアルモードの加熱時間、加熱後の追加加熱時間、解凍時の重量を設定します。
	1分 / 100gボタン	
	10秒 / 10gボタン	
出力切替(▲/▼)ボタン		マニュアルモードの出力を切り替えます。
スタート / あたため / 冷凍あたためボタン		ボタンを1回押すとあたため、2回押すと冷凍あたためが始まります。解凍メニュー、マニュアルモードを選んだあとに押すと加熱を開始します。
取消ボタン		ボタンを押し間違えたときや、あたためを中止するときに押します。

据え付けの確認

設置場所について

火災を防ぐために、壁や家具など周囲の可燃物から下図の距離を離して設置してください。

→「設置に関する注意事項」**7ページ**



お
使
い
に
な
る
前
に

重要

前面および側面の片側は開放する。

樹脂製の、熱に弱い壁や家具などの場合は、さらに距離を離す。

不安定な場所や熱に弱い物の上、近くでは使わない。

じゅうたん、ふとん、畳、テーブルクロス、プラスチックの置台、塗装を施してある台や家具などの上や近く、カーテンなどの燃えやすい物のそばなどで使わないでください。変色、変形、火災の原因になります。また、本製品を冷蔵庫・電子レンジ・オーブンレンジやトースターの上に乗せて使わないでください。金属製の台もしくは金属製のレンジ台などの上に置いていただくことをおすすめします。

肩よりも高い位置に置いて使わない。

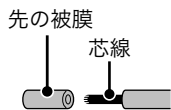
とびらに手が触れてやけどの原因になります。

背面の壁がガラスの場合、20 cm以上あける。

温度差で割れる原因になります。

アース線の取り付けについて

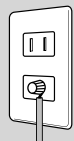
▶ コンセントにアース端子がある場合



←被膜を取る

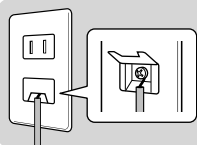
アース線先端の被膜を取ってください。このとき、芯線を傷つけないように注意してください。

アース端子の例



つまみタイプ

つまみを緩め、ねじ部分にアース線先端の芯線を巻きつけ、つまみを締めてください。



ふた付タイプ

ふたを開けてドライバーでねじを緩め、ねじ部分にアース線先端の芯線を巻きつけます。ドライバーでねじをしめ、ふたを閉めてください。

▶ コンセントにアース端子がない場合

アース接地工事(電気工事が資格者によるD種接地工事)を行ってください。工事はお買い上げの販売店にご相談ください。

次の場合は、感電事故を防止するため電気工事が資格者による、D種接地工事が法律で義務づけられています。

- 湿気が多い場所
水蒸気が充満する場所、土間・コンクリート床、酒・しょうゆなどを醸造または貯蔵する場所
- 水気のある場所(漏電遮断機の取り付けも義務付けられています)
水を取り扱う土間、洗い場など水気のある場所
地下室など常に水滴が漏出したり、結露する場所

○使える容器・×使えない容器

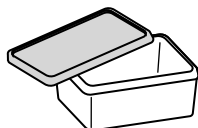
ご注意

- ・プラスチック類は家庭用品品質表示法に基づく耐熱温度表示をご覧ください。
- ・材質や耐熱温度がわからない容器は使わないでください。
- ・市販のレンジ加熱用金属製調理器具は使わないでください。故障の原因になります。

▶ プラスチック容器・シリコン容器



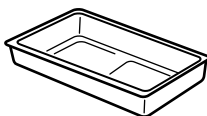
耐熱温度140℃以上の
プラスチック容器・
シリコン容器
ポリプロピレン製など



ただし、次のものは使えません。
・油脂・糖分・塩分の多い食品、ケチャップなど(高温になるため)
・「電子レンジ使用可」表示のない容器
・密閉性の高いふた、熱に弱いふた



その他のプラスチック容器



耐熱温度が140℃未満のもの(ポリエチレン、スチロール樹脂など)や、耐熱温度が高くても電波で変形するもの(メラミン、フェノール、ユリア樹脂、アルミなどで表面加工した樹脂など)は使えません。

▶ 陶器・磁器



耐熱性のある陶器・磁器
ココット皿、グラタン皿など



日常使っている陶器・磁器
茶碗、皿など

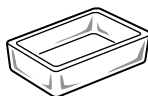


ただし、次のものは使えません。容器を傷めたり、火花が出ることがあります。
・金・銀を使った容器
・色絵が付いた容器、ひび模様のある容器

▶ ガラス容器



耐熱性のあるガラス容器



ただし、加熱後に急冷すると割れることがあります。



耐熱性のないガラス容器
強化ガラス、クリスタルガラス、
カットグラスなど



▶ その他



ラップ類
耐熱温度が140℃以上のもの



ただし、砂糖、バター、油を使った料理は高温になり、ラップが溶けるため使えません。



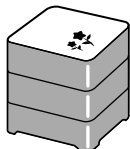
金属、ホーロー製の鍋、ふた・
金属容器・金ぐし・アルミ
ホイルなど



電波を反射するため使えません。
加熱室壁面、ドア、テーブルプレートに触れると火花(スパーク)が出て、破損や故障の原因になります。



竹・木・藤・紙・ニス塗り・
漆塗り容器など



焦げたり、塗りがはげたり、ひび割れすることがあるため使えません。特に針金を使っているものは燃えやすくなります。

オートであたためる

警告

スタート
1 あたため
2 冷蔵あたため

であたためるときは



• 100 g未満の食品を加熱しない
発煙・発火の原因になります。マニュアルモードで様子を見ながら加熱してください。➔ **17ページ**



• 飲みものは加熱しない
発煙・発火・突沸の原因になります。

あたためモード

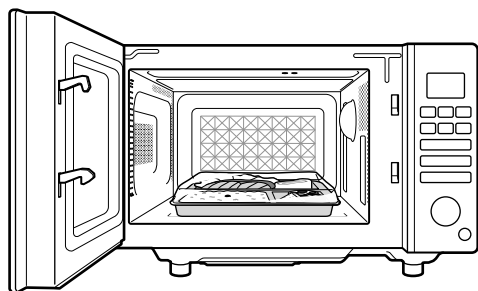
スタート
1 あたため
2 冷蔵あたため

オートメニュー1: あたため
常温・冷蔵のお弁当やお惣菜、ご家庭で調理した食品(おかずなど)を自動であたためます。

- 1回分の量のめやす:
1～2人分(100～300 g)
お弁当は1個
- 食品の温度のめやす:
常温は約20℃、冷蔵は0～10℃

1 食品を入れる

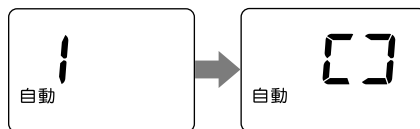
- 食品の量に合った耐熱性の容器に入れ、庫内中央に置きます。食品によりラップをします。
- ➔「使える容器・使えない容器」**12ページ**
- ➔「常温・冷蔵保存した食品のあたため」**14ページ**
- ➔「ラップをかけるときは」**2ページ**



2 スタート を1回押す

スタート
1 あたため
2 冷蔵あたため


- 約2秒後に加熱が始まります。



3 ブザーが鳴ったら食品を取り出す

- 取り忘れがあると、1分ごとにブザーでお知らせします。

加熱終了後、さらに加熱したいときは

ブザーが鳴ってから1分以内(「」が点滅しているあいだ)に **1分 100g** または **10秒 10g** を

押して時間を設定し、**スタート** を押します。(最長3分)

あたためられるお弁当

コンビニエンスストアやスーパーマーケットで売られている、「レンジ加熱」の表記のあるお弁当

おしらせ

- お弁当の種類によって、あたため具合が異なります。
- 揚げものは熱めに、厚みのある食品はぬるめになることがあります。
- 漬けものなどもあたためられます。

オートであたためる

常温・冷蔵保存した食品のあたため

▶ お弁当

ラップなし

しょうゆやマヨネーズなどの調味料を必ず取り外し、包装をはずさずに1個ずつあたためます。卵は取り除いてください。

▶ 野菜の煮物・おでん

ラップなし

卵は取り除いてください。容器に入れて、加熱した煮汁をかけます。

▶ 煮魚

ラップあり


容器に入れて、煮汁をかけます。煮魚は身が飛び散ることがあるので、深めの皿に入れ、ラップをしてください。

▶ カレー・シチュー

ラップあり

エビやイカ、丸ごとのマッシュルームは飛び散ることがあるので、ラップをしてください。加熱後はよくかき混ぜてください。

ご注意

次の食品は  であたためないでください。

- 肉まん、あんまんなどあん入りの食品
- みそ汁、スープなどの汁物
- 「レンジ加熱」の表記のないお弁当

マニュアルモードで様子を見ながら加熱してください。

▶「マニュアルであたためる」**17ページ**

容器は、陶磁器や耐熱性のある容器をご使用ください。漆器や耐熱性のない容器は使えません。

▶「使える容器・使えない容器」**12ページ**

冷凍あたためモード

スタート

1 あたため
2 冷凍あたため

オートメニュー 2：冷凍あたため

冷凍保存した食品(おかずなど)を自動であたためます。

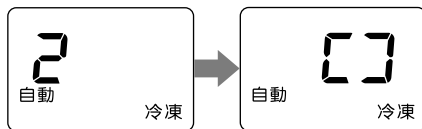
1 食品を入れる

- 冷凍庫から出した食品を、量に合った耐熱性の容器に入れ、庫内中央に置きます。
- ▶「使える容器・使えない容器」**12ページ**
- ▶「ラップをかけるときは」**2ページ**

2 スタートを2回押す

スタート
1 あたため
2 冷凍あたため




- 約2秒後に加熱が始まります。



3 ブザーが鳴ったら食品を取り出す


- 取り忘れがあると、1分ごとにブザーでお知らせします。

加熱終了後、さらに加熱したいときは

ブザーが鳴ってから1分以内(「」が点滅しているあいだ)に  または  を

押して時間を設定し、 を押します。(最長3分)

ご注意

次の食品は  であたためないでください。

- 市販の冷凍食品
 - 肉まん、あんまんなどあん入りの食品
- マニュアルモードで様子を見ながら加熱してください。市販の冷凍食品は、パッケージの指示に従ってください。

解凍する



解凍

オートメニュー 3：解凍

冷凍庫で保存していた肉や魚などを解凍します。

刺身のみ、中心が軽く凍った程度に解凍します。加熱後、3～5分放置して自然解凍します。

大きさのめやす

- ひき肉／薄切り肉：厚さ約2 cm、分量100～300 g
- 肉／魚：厚さ2～3 cm、分量100～300 g
- 刺身：ブロック(さく)のもの、厚さ2.5～4.5 cm、分量100～400 g

ご注意

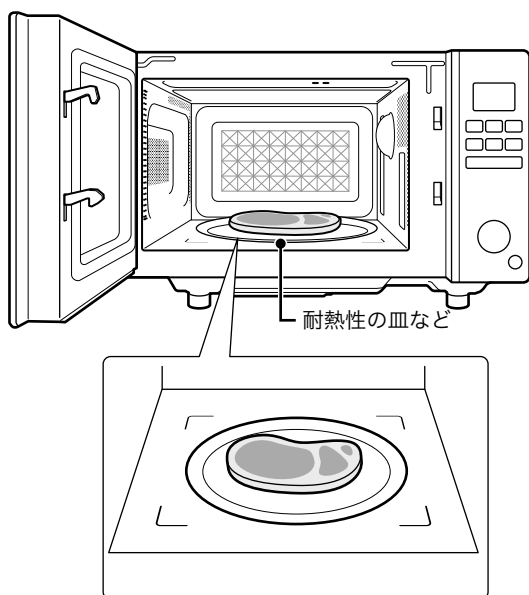
次のような食品は、マニュアルモードで様子を見ながら加熱してください。

- 分量が100 g未満の食品
- 冷凍庫から出してしばらく時間のたった食品
- 溶けかけている食品

1 食品を入れる

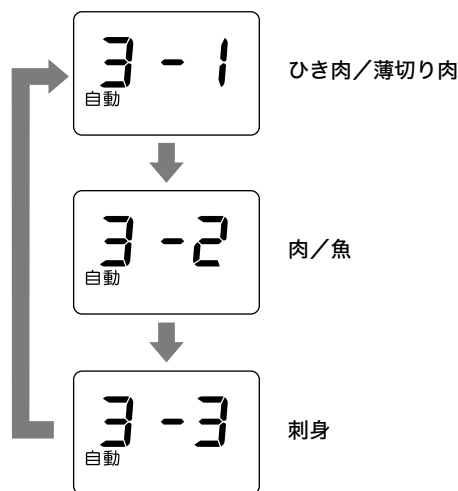
- 冷凍庫から取り出した食品を量に合った耐熱性の容器に入れ、庫内中央に置きます。ラップなどの包装は外してください。発泡スチロールのトレーも使えますが、耐熱性の皿より加熱されやすいため、部分的に煮えたりすることがあります。

▶「使える容器・使えない容器」12ページ



2 解凍 ボタンを押してメニュー番号(3-1, 3-2, 3-3)を選択する

- ボタンを押すたびにメニューが以下の順に切り替わります。




3 1分/100g 10秒/10g を押して重量を合わせる

- 100～400gまで10g単位で設定可能です。



ご注意

- 解凍モードは重量(g)の設定が必要です。必ず重量を(g)を合わせてから  を押してください。

使いかた




4 を押す

- 加熱が始まり、残り時間が表示されます。

5 ブザーが鳴ったら食品を取り出す

- 取り忘れがあると、1分ごとにブザーでお知らせします。

加熱終了後、さらに加熱したいときは

ブザーが鳴ってから1分以内(「0」が点滅しているあいだ)に    を押し

て時間を設定し、 を押します。
(最長10分)

ご注意

- 形状や肉質、冷凍状態、温度によっては部分的に煮えたり、固めになったり、凍った部分が残ったりすることがあります。

マニュアルであたためる

警告

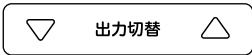


● 食品・飲み物は加熱しすぎない

発煙・火災の原因になります。

飲み物は取り出すとき飲み物が突然沸とう(突沸)して飛び散り、やけど・けがの原因になります。

時間を控えめに設定し、調理中、様子を見ながら加熱してください。



マニュアルモード

手で出力(W)と加熱時間を設定してあたためます。

1 食品を入れる

- 食品を量に合った耐熱性の容器に入れ、庫内中央に置きます。食品により、ふたやラップをします。

➔「使える容器・使えない容器」**12ページ**

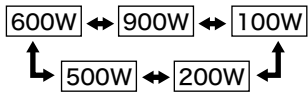
➔「加熱時間のめやす」**18ページ**

2 または 出力切替 ボタン

または **500W** **600W** ボタンを押して、出力を設定する



- 《出力切替》ボタンを押すたびに、出力(W)が切り替わります。



3 10分 1分 10秒 を押して 加熱時間を設定する

- 10秒単位で設定できます。

最大設定時間		
900W	600W	200W
	500W	100W
3分*	15分	30分

4 スタート を押す

1 あたため
2 冷凍あたため

- 加熱が始まります。

5 ブザーが鳴ったら食品を取り出す

- 取り忘れがあると、1分ごとにブザーでお知らせします。

加熱終了後、さらに加熱したいときは

ブザーが鳴ってから1分以内(「**0**」が点滅しているあいだ)に **10分** **1分** **10秒** を

押して時間を設定し、**スタート** を押します。

(500 W以上は最長3分*、200 W以下は最長10分)

ご注意

- 加熱を繰り返す行くと、製品保護のため、自動的に出力を下げる場合があります。5分ほど時間をおいてから加熱してください。

* 定格高周波出力900 Wは短時間高出力機能(約2分間)であり、定格連続高周波出力は600 Wです。600 Wには自動的に切り換わります。

加熱時間のめやす

出力と時間を設定する際の加熱時間のめやすです。加熱時間は食品の分量にほぼ比例します。

ご注意

食品の形状や保存状態、温度によっては、うまくあたたまらなかったり、うまく解凍できなかったりすることがあります。

ごはん・おかずのあたため

	メニュー名	ラップの有無	分量	加熱時間 (600 W)
ご飯類	ごはん	－	1杯(150 g)	約1分
	コンビニ弁当	－	1人分 (400 g)	約2分
揚げ物	フライ	－	1個(100 g)	40～50秒
	コロッケ	－	2個(150 g)	約50秒
汁物	みそ汁・コンソメスープ	－	1人分 (150 g)	約1分
	カレー・シチュー	有	1人分 (各200 g)	約1分30秒
飲み物	牛乳	－	1杯 (200 ml)	約1分10秒
	コーヒー	－	1杯 (150 ml)	約50秒
その他	ハンバーグ	－	1個(100 g)	約40秒
	野菜の煮物	－	1人分 (150 g)	1分～1分30秒
	あんまん・肉まん	有	各1個(80 g)	40～50秒

冷凍した食品の冷凍あたため

	メニュー名	ラップの有無	分量	加熱時間 (600 W)
	冷凍ごはん	有	1杯(150 g)	2分40秒～3分
	冷凍ピラフ	有	1人分 (各250 g)	3分30秒～4分
	冷凍ハンバーグ	有	1個(100 g)	2分30秒～3分
	冷凍フライ	－	1個(100 g)	約1分40秒
	冷凍カレー・シチュー	有	1人分 (各200 g)	3分50秒～4分
	冷凍あんまん・肉まん	有	各1個(80 g)	約1分20秒

おしらせ

- 市販の冷凍食品は、パッケージの指示に従ってあたためてください。

生ものの解凍

- まぐろは中心が軽く凍った程度に解凍します。加熱後、5～7分放置して自然解凍します。

	メニュー名	ラップの有無	分量	加熱時間 (200 W)
	ひき肉	－	200 g	3～4分
	薄切り肉	－	200 g	3～5分

	メニュー名	ラップの有無	分量	加熱時間 (100 W)
	まぐろ(ブロック)	－	200 g	3～5分

野菜

素材名		調理のコツ	ラップの有無	分量	加熱時間 (600W)
葉菜	ほうれん草	太い茎には切れ目を入れ、葉先と根元を交互に並べてラップで包み、皿に置く。加熱後、冷水に取ってアク抜き、色止めをする。	有	200 g	2分～2分30秒
	キャベツ	芯を削ぎ落とし、8 cm幅くらいのざく切りにしてラップで包み、皿に置く。			
花・果菜	ブロッコリー	小房に分けて洗い、皿の中央に置き、ラップをゆったりかける。加熱後、冷水に取って色止めをする。	有	200 g	約3分
	とうもろこし	皮をむき、皿においてラップをゆったりかける。		300 g (1本)	約4分
	かぼちゃ	2～3 cm幅に切り、皿に並べてラップをゆったりかける。		200 g	3分～3分30秒
根菜	にんじん	1 cm幅に切り、皿に並べてラップをゆったりかける。	有	200 g	4分～4分30秒
	さつまいも	1 cm幅に切り水にさらす。水を切って皿に並べてラップをゆったりかける。			約4分
	里いも	皮をむいた里いもは、塩もみして水で洗い、ぬめりを取り、皿に並べてラップをゆったりかける。			
	れんこん	1 cm幅に切り、酢水につけて水にさらす。水を切って皿に並べてラップをゆったりかける。			
	じゃがいも	丸ごとのときは洗った水気を残し、皿の中央に置いてラップをゆったりかける。 切るときは皮付きのまま4等分に切って皿の中央に置いてラップをゆったりかける。			

使
い
か
た

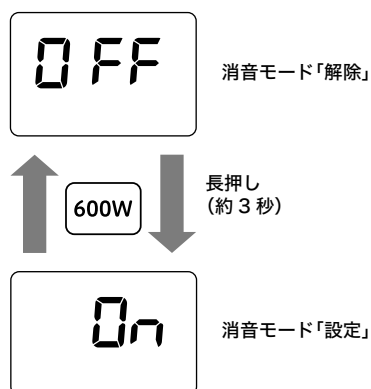
| 消音モード

終了音や操作音などの報知音を無音にする「消音モード」を設定できます。

▶ 消音モードを設定／解除する

設定するときは、調理やあたためを行っていない状態(ディスプレイが「0」の表示の状態)で《600W》ボタンを長押し(約3秒)します。

解除するときは、再度《600W》ボタンを長押し(約3秒)します。



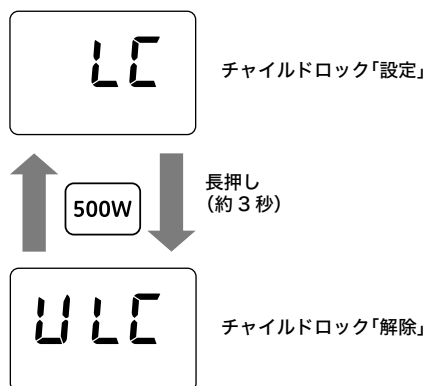
| チャイルドロック

子どもが誤ってボタンを押してしまっても動作させないように、操作パネルのボタンをロックします。

▶ チャイルドロックを設定／解除する

設定するときは、調理やあたためを行っていない状態(ディスプレイが「0」の表示の状態)で《500W》ボタンを長押し(約3秒)します。

解除するときは、再度《500W》ボタンを長押し(約3秒)します。



ご注意

- 消音モード、チャイルドロックの設定は電源プラグを抜いてもリセットされません。設定／解除するときは上記の操作を行ってください。

お手入れのしかた

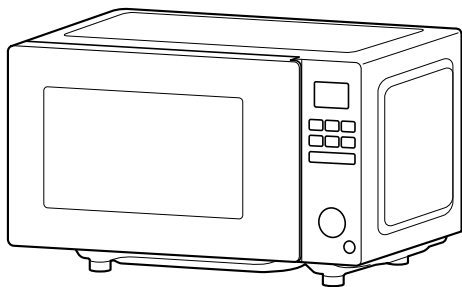
ご注意

- 加熱室壁面やドア内側に食品くずなどの異物を付けたままにすると、火花(スパーク)や炎が出たり、さびや悪臭の原因となります。お使いのたびにお手入れをしてください。
- お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて本体を冷ましてから行ってください。
- 本体を丸洗いや、水に浸したりしないでください。また、本体や操作パネルに水をかけたりしないでください。感電・ショート・火災・故障の原因になります。
- シンナー・ベンジン・研磨剤入り洗剤・みがき粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面に傷が付く原因になります。

やわらかいふきんで拭く(汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんで拭く)

本体(外側)

やわらかいふきんで拭きます。
汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに台所用中性洗剤を含ませて拭き取ってください。



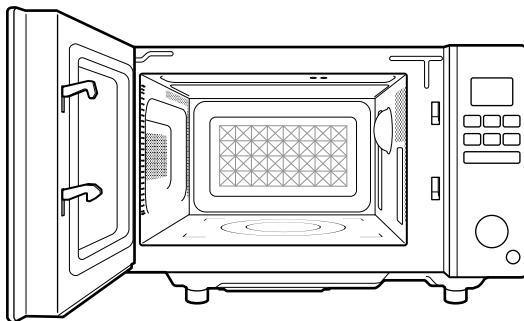
固く絞ったぬれふきんで拭く

加熱室壁面

ドア内側

テーブルプレート

固く絞ったぬれふきんで拭きます。
汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を含ませた布で拭き取り、その後固く絞ったぬれふきんで洗剤を拭き取ってください。強い力を加えたり、たわし、研磨剤入りの洗剤などを使用しないでください。傷や破損の原因となります。



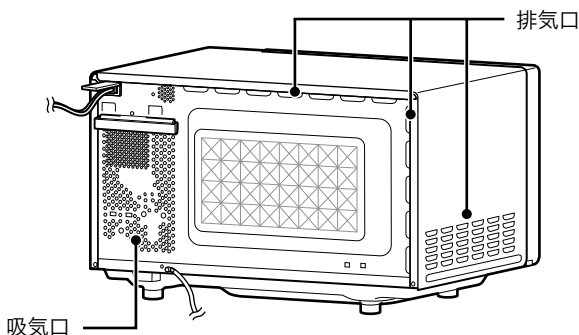
ご注意

- テーブルプレートの周囲のシール材は強くこすらないでください。

ほこりを拭き取る

吸気口・排気口

乾いた布でほこりを拭き取ってください。
ほこりがたまると、換気できずに故障の原因になります。



長く愛用いただくために

あたため・解凍がうまくできないときは

ごはんのあたため

Q1 あたたまらない、仕上がりにムラがある

- プラスチック製の容器で加熱していませんか。陶器・磁器などの容器に入れて加熱してください。
- 2杯を同時にあたためるときは、同じ分量、同じ大きさの容器に入れ、加熱室の中央に寄せて置いて加熱してください。

Q2 熱くなりすぎる

- ぬるめがお好みの場合は、マニュアルモードで様子を見ながらあたためてください。

Q3 ごはんがぱさつく

- 加熱前に、水を振るとしっとりと仕上がります。

Q4 冷凍ごはんを解凍すると熱くなりすぎる

- 溶けかけていませんか。冷凍室から取り出してすぐ加熱してください。

解凍

Q1 解凍不足でかたい

- 食品の厚みが不均一だと厚い部分が溶けにくくなります。冷凍するときは、食品の厚みを揃えてください。
- 200 Wまたは100 Wで様子を見ながら再加熱してください。

Q2 食品が煮えた

- 食品の厚みが不均一だと細い部分や薄い部分が煮えやすくなります。冷凍するときは、食品の厚みを揃えてください。
- 解凍するときはラップなどの包装は外してください。
- 同時に複数個解凍する場合は、同じ種類で同じ大きさのものにしてください。

おかずのあたため

Q1 あたたまらない、仕上がりにムラがある

- 食品が、金属容器やアルミホイルでおおわれていると加熱されません。
- 加熱室の中央にのせて加熱してください。
- 保存状態(常温、冷蔵、冷凍)が違っていませんか。保存状態が違うものを同時にあたためると上手にあたたまりません。
- 食品の種類や保存状態(常温、冷蔵)によって、マニュアルモードで様子を見ながら加熱してください。

Q2 熱くなりすぎる

- あたためる食品の量が少なすぎませんか。100 g以上にしてください。
- 追加加熱するときは、オートメニューではなくマニュアルモードで様子を見ながら加熱してください。
- 冷めかけた食品をオートメニューであたためていませんか。マニュアルモードで様子を見ながら加熱してください。

Q3 カレーやシチューがあたたまらない

- とろみがあるものはラップをして、マニュアルモードで様子を見ながら加熱してください。
- 加熱前と後に、かき混ぜてください。

Q4 冷凍食品があたたまらない

- 市販の冷凍食品はパッケージの指示に従い、マニュアルモードで様子を見ながら加熱してください。

飲み物のあたため

Q1 熱くなりすぎる

- 飲み物の量が少なくありませんか。
容器の大きさに対して半分以下の量のときは500 Wで様子を見ながらあたためてください。
- 冷めかけた飲み物をあたためていませんか。
冷蔵庫から出したてのものを使ってください。
- 《あたため》で加熱すると熱くなりすぎます。

Q2 ぬるい

- 市販のパックのまま加熱していませんか。
マグカップやコップに移しかえて加熱してください。
- 同時に2杯加熱する場合は、分量を同じくらいにして、加熱室の中央に寄せて並べ、加熱します。

野菜

Q1 野菜がうまくゆであがらない

- 分量が多すぎたり、少なすぎませんか。
ほうれん草などの葉菜は100～300 g、じゃがいもなどの根菜は100～400 gまで加熱できません。

Q2 ほうれん草などの葉菜が乾燥したりむらがある

- ほうれん草などの葉菜は、洗ったあとの水気を切らない状態でラップで包みます。
葉と茎を交互にして重ねてください。

Q3 じゃがいもやにんじんなどの根菜類が加熱しすぎになった

- 分量が少なすぎませんか。100 g以上にしてください。


Q4 じゃがいもが加熱不足になった

- 2個以上加熱するときは大きさを揃えてください。

長く愛用いただくために

故障かなと思ったら

Q1 電源が入らない

- 電源プラグが抜けていませんか。電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
- 配電盤のヒューズ、またはブレーカーが切れていませんか。
- 表示部に「」が表示されていますか。表示がない場合はドアを開閉してください。
- ドアはきちんと閉まっていますか。ドアをしっかり閉めてください。
- 本体が冷えるまで5分以上時間をあけて、電源を入れ直してください。安全装置が働いた場合は、本体が冷えると復帰して電源が入ります。
- 専用ブレーカーを切/入し直し、ドアを開閉しても正常にならない場合は、故障の可能性があります。電源プラグを抜いて使用を中止し、販売店またはシロカサポートセンターへご連絡ください。

Q2 加熱中「ジージー」と音がする

- インバーターの作動音です。

Q3 加熱中「パチン」と音がする

- ドアと加熱室の接触面に付着していた水滴がはじける音です。

Q4 加熱中「カチッ カチッ」と音がする

- 200 W、100 W運転時に出力を制御するときの切り替え音です。
- 長時間連続運転した場合、製品保護のために断続運転する場合があります。


Q5 調理終了後、しばらくすると「カチ」と音がする

- 調理終了後にドアを閉めてから5分後に作動する、待機電力をオフにするスイッチの音です。

Q6 調理終了後、しばらくするとブザー音がする

- 取り忘れ防止のために調理終了後、ドアが開けられるまでに、1分おきに「ビビビッ」と鳴ってお知らせします。

Q7 終了音や操作音が無音になった

- 消音モードが設定されていませんか。ドアを開閉して表示部に「」を表示させてから、《600W》ボタンを3秒以上長押しすると、終了音や操作音などの報知音を無音にする消音モードの設定/解除ができます。

Q8 電源プラグを差し込むとき「カチッ」と音がしたり、火花(スパーク)が出る

- 電源回路に充電するため、故障ではありません。

Q9 加熱するとき火花(スパーク)が出る

- 金属容器やアルミホイルを使用していませんか。
- 金・銀を使った容器を使用していませんか。
- 加熱室底面や壁面などに食品くずがついていませんか。加熱室壁面やドア内側に食品くずなどの異物を付けたままにすると、火花(スパーク)や炎が出たり、さびや悪臭の原因となります。使用後はしっかりとお手入れをしてください。

Q10 加熱中、表示部やドアがぐもったり、水滴が付着する。水滴が落ちる

- メニューによっては食品から出た水蒸気で、表示部やドアの内側がぐもったり、加熱室内に水滴が付着することがあります。ドアの内側などに水滴がつき、床に落ちたときは、ふきんでふき取ってください。

Q11 あたたまらない/うまく加熱されない

- 加熱を繰り返し行くと、製品保護のため、自動的に出力を下げる場合があります。5分以上時間をおいてから、マニュアルモードで様子を見ながら加熱してください。

Q12 ボタンを押すと「LC」と表示されて操作できない

- チャイルドロックが設定されています。チャイルドロックを解除するには、《500W》ボタンを長押し(約3秒)します。

「EXX」(XXは数字)が表示されたとき

故障の可能性があります。電源プラグを抜いて使用を中止し、販売店またはシロカサポートセンターへご連絡ください。

| 仕様

品名(型番)	電子レンジ(OB-R18F1)	
本体サイズ	約 458 (W) × 350 (D) × 282 (H) mm	
加熱室有効寸法	約 295 (W) × 324 (D) × 181 (H) mm	
本体質量	約 9.0 kg	
電源コード	約 1.5 m	
電源	交流100 V、50 Hz/60 Hz共用	
消費電力	1350 W	
高周波出力	900 W* ¹ 、600 W、500 W、200 W相当、100 W相当	
発振周波数	2450 MHz	
消費電力量のめやす* ²	区分名	A:単機能レンジ
	電子レンジ機能の年間消費電力	59.9 kWh/年
	年間待機消費電力	0.0 kWh/年* ³
	年間消費電力量	59.9 kWh/年
原産国	中国	

*¹ 定格高周波出力900 Wは短時間高出力機能(約2分間)であり、定格連続高周波出力は600 Wです。600 Wには自動的に切り換わります。

*² 年間消費電力量は省エネ法・特定機器「電子レンジ」測定方法による数値であり、区分名も同法に基づいています。実際お使いになるときの年間消費電力量は、使用回数や使用時間、食品の量、周囲環境によって変化します。

*³ コンセントに電源プラグを差した状態で、表示部が消灯しているときの消費電力は「0」Wです。

重要

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

保証とアフターサービス

— 必ずお読みください —

▶ 保証書(裏表紙)

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。

保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

▶ 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、なお異常のあるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにお問い合わせください。

保証期間中(お買い上げ日から1年未満)の修理

保証書の規定により、無料で修理いたします。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている(お買い上げ日から1年以上)修理

修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

▶ 保証期間

お買い上げ日から1年間です。マグネトロンについては2年間です。消耗部品は保証期間内でも有料とさせていただきます。

▶ 補修料金のしくみ

補修料金は技術料(故障した製品の修理および部品交換などにかかる作業料金)と部品代(修理に使用した部品の代金)などで構成されています。

▶ 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造終了後8年です。その製品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

▶ 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

長くご利用いただくために

長年ご使用の製品の点検を!

- 長年ご使用の製品では、電気部品の経年劣化による発煙・発火のおそれがあります。ご使用前に必ずご確認ください。次のような症状がある場合は、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにご連絡ください。点検・修理費用などはシロカサポートセンターにご相談ください。
 - 電源プラグ・コードが異常に熱くなる
 - スタートボタンを押しても加熱されない
 - 自動的に切れないことがある
 - 焦げくさいにおいがしたり、異常な音や火花(スパーク)がでる
 - ドアに著しいガタや変形がある
 - 触ると電気を感じる
- 定期的に「安全上のご注意」や使いかた、ご注意を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

- シロカ株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

保証書

持込修理

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は大切に保管してください。
お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでお問い合わせください。

品名：電子レンジ

型番：OB-R18F1

保証期間：お買い上げ日より本体1年間、マグネトロン2年間

お客様：

ふりがな

お名前

ご住所

お電話

お買い上げ日： 年 月 日

製造番号：

販売店：店名・住所・電話

お願い：未記入の保証書の場合、お買い上げ日を証明するレシート、送り状などを必ず添付してください。証明がない場合、保証対象にならない場合があります。

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。
お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合は、本書記載内容に基づき弊社が無料修理いたしますので、製品と本保証書をご用意のうえ、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでご依頼ください。
ご転居、ご贈答などで、お買い上げいただいた販売店に修理が依頼できない場合は、シロカサポートセンターまでご連絡ください。
なお食品の補償など製品の故障以外の保証はいたしかねます。
保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引越、輸送などによる故障または損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
 - 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用など）に使用された場合の故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。お買い上げ日を証明するレシート、送り状などの証明書がない場合。通信販売、インターネットでお買い上げ時、ご注文確認メールなどご購入履歴を確認できるものの提示がない場合。
 - 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。（かすり傷、へこみなどを含まず）
 - 腐食による故障、及び損傷。
 - 消耗部品の交換。
 - お買い上げの製品が、有償無償を問わず譲渡されたもの（中古品）であった場合。
- 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
- 本書に基づく無料修理（製品交換を含みます）後の製品については、最初のお買い上げ時の保証期間が適用されます。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

【製造元】シロカ株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F

19090014b

お客様サポート

二次元コードからもアクセスできます

故障・修理のお問い合わせ、修理代金の目安、
使いかた・お手入れなどのよくあるご質問はこちら

シロカ サポート

検索



部品・消耗品の
ご購入はこちら



シロカサポートセンター ナビダイヤル 0570-001-469 受付時間：10:00～17:00（土日祝、弊社指定休業日を除く）
非通知設定の方は「186」をつけて発信番号通知のご協力をお願いします。サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。